

# 大阪大学生産技術研究会×日刊工業新聞/特別勉強会

## 5Gから6Gへ、通信革命がもたらす未来のビジョン

### ～我々のビジネスや生活はどう変わるか～


#### <開催趣旨>

我々の生活や生産活動にも大きな影響を与えると言われる第5世代移動通信システム(5G)や、その先に控える6Gについて、大阪大学の新進気鋭の研究者を講師にお招きし勉強会を開催します。今回テーマに取り上げる5Gでは、通信スピードの大容量化のためにより高い周波数帯を用いる予定であるため、マイクロ波の採用により多数の携帯電話小型基地局を数十メートル単位で設置する必要があります。また、既存の4G/LTEから5Gへの通信システムの変更に伴い、通信機器や産業機器の追加や入替が多発し、通信機器/電子部品を製造するサプライチェーンに大きな影響を及ぼすことが予想されます。たとえば、VR・自動運転やAIといった関連技術の開発が進み、これらのイノベーションにより経済の成長や産業の新陳代謝が促進されると予測されています。次世代通信革命を専門分野の大阪大学の先生型から貴重なお話を伺う予定です。また、セミナー後は関西有数のホテルであるセントレジス大阪の貴賓室を使い、大阪大学生産技術研究会、日刊工業新聞社内大阪産業人クラブ、サザンクロスの会員企業で交流会を開催。東西の有力企業で懇親と親睦を深めたく考えております。

#### 講師紹介(講演順)

	<b>講演1</b> 5Gの技術動向と予想される社会
	<b>三瓶 政一 氏</b> Seiichi SAMPEI 1982年4月～1993年3月 郵政省通信総合研究所勤務。 1993年4月～2004年5月 大阪大学 工学部 助教授 2004年6月～(現在に至る) 大阪大学大学院 工学研究科 教授 1991年8月～1992年7月 カリフォルニア大学デービス校 客員研究員 2014年9月～ 5GMF 技術委員会委員長 2015年1月～ 総務省 情報通信審議会委員

	<b>講演2</b> 5GのアプリケーションとIoT
	<b>猿渡 俊介 氏</b> Shunsuke SARUWATARI 2002年3月 電気通信大学 学士(工学) 卒業 2007年3月 東京大学大学院 博士(科学) 工学博士 2007年4月～2008年3月 イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 客員研究員 2008年4月～2012年3月 東京大学 先端科学技術研究センター 助教 2015年4月～2016年3月 静岡大学大学院 情報学研究科 講師 2016年4月～現在 大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授 総務省 情報通信審議会委員 情報通信行政委員 経済産業省 IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会 有識者

	<b>講演3</b> ビヨンド5G ～テラヘルツ技術への期待～
	<b>斗内 政吉 氏</b> Masayoshi TONOUCHI 1983年3月 大阪大学 基礎工学部 電気工学科 卒業 1988年3月 大阪大学 基礎工学研究科 物理系専攻 修士 工学博士 1994年4月～1995年10月 郵政省通信総合研究所 主任研究官 2000年5月1日 超伝導フォトンクス研究センター 教授 2004年7月1日 レーザーエネルギー学研究センター 教授 2017年5月1日 レーザー科学研究所 教授 専任